

報道関係者各位

令和4年5月25日

電柱上で営巣したコウノトリの卵の保護・巣の撤去について

舞鶴市内にある関西電力の電柱上部にコウノトリが営巣しておりましたが、この度、卵の保護（移送）と巣の撤去を行いましたので報告します。

1、実施した日：令和4年5月20日（金）

2、営巣地：舞鶴市内

3、保護した卵の数：3個

4、卵の移送先：福知山市動物園（福知山市）

※同動物園は京都府北部における野生鳥獣の救護機関。

5、卵の保護・巣の撤去をおこなった経過：

令和4年4月2日（土）、電柱上部にコウノトリが営巣していることを確認。コウノトリが電線に触れての感電死や周辺への停電も危惧されたため、市は巣の撤去を4月中旬に2回行いました。コウノトリには兵庫県立コウノトリの郷公園が装着した足環が装着されており、メスは平成27年産まれ、オスは平成28年産まれで、同じ親から産まれていることが判明しました。同公園からは、「今回のペアは姉弟であり、近親婚による繁殖はコウノトリの長期的な存続に悪影響を及ぼす可能性があり、回避する必要がある」※と連絡が入りました。

電柱上の巣を撤去する度にコウノトリは巣づくりを行い、4月下旬になるとコウノトリが巣に常に座っている状態となりました。これは卵を抱えている時の状態であり、今後のコウノトリ繁殖への悪影響を避けるため、地域住民の理解を得て卵と巣の撤去（関西電力）をおこないました。卵の保護には親鳥が興奮して卵を落とすこともあるので関係者のみで卵の保護をおこないました。保護した卵はすぐに福知山市動物園へ移送し、う化器内で保護をおこなっています。

※「-コウノトリ飛来・繁殖時の対応パンフレット- あなたのまちでコウノトリが巣づくりをはじめたら」6P
兵庫県立コウノトリの郷公園

